

The Weekly Journal

Rotary



東京臨海ロータリークラブ
東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ



IMAGINE
ROTARY



クラブ会長ターゲット
「奉仕して学び向上しよう」
"Serve, learn and improve"
2022-2023年度
東京臨海ロータリークラブ会長
杉浦孝浩



国際ロータリーテーマ
「イマジン ロータリー」
"IMAGINE ROTARY"
2022-2023年度
国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ



衛星クラブ議長ターゲット
「自主性を持った奉仕と運営」
"Independent Service
and Management"
2022-2023年度
東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ議長
小松啓祐

2023年2月15日
東京臨海 RC 【第1266回例会】
東京臨海北斗 RSC 【第75回例会】

東京臨海 RC
創 立 : 1994年8月8日
会 長 : 杉浦孝浩
副 会 長 : 酒井教吉
幹 事 : 井上晴貴
プログラム
構成委員長 : 伊佐康暢
(会報担当)

東京臨海北斗 RSC
創 立 : 2020年12月18日
議 長 : 小松啓祐
副 議 長 : 大貫翔吾
幹 事 : 井上晴貴

2月15日の卓話

「私のロータリーモーメント」
東京臨海ロータリークラブ
パスト会長 佐久間裕章様

3月1日の卓話

「イニシエーションスピーチ」
東京臨海北斗 RSC 会員 椎橋正樹様
東京臨海北斗 RSC 会員 伊藤一正様

《2023年2月8日例会報告》

東京臨海 RC 第1265回
東京臨海北斗 RSC 第74回

司会：菅澤会員

- 点鐘：東京臨海 RC 杉浦孝浩会長
東京臨海北斗 RSC 小松啓祐議長



- ロータリーソング斉唱「我等の生業」
：ソングリーダー：吉成副委員長
- 「四つのテスト」斉唱（歌）
- 「ロータリーの目的」東京臨海 RC 抜萃 Ver. 唱和
：井上幹事



- 来賓・ゲストスピーカー紹介：杉浦会長
ゲストスピーカー 及川信之様（NPO 法人らいおん
はーと理事長／江戸っ子ぬくもり応援 RCC 隊長
- ビジター紹介：高吉会員
羽鳥貞雄様（東京臨海東 RC）
栗山義広様（東京臨海西 RC・当クラブ名誉会員）
坂本英一様（高橋会員ゲスト）
富澤章司様（高橋会員ゲスト）
板越佑二郎様（高橋会員ゲスト）
浅野泰平様（高橋会員ゲスト）
森田 肇様（高橋会員ゲスト）
米澤章吾様（杉浦会長ゲスト）
生澤至代様（吉成会員ゲスト）

- ご挨拶：地区研修協議会実行委員長 羽鳥貞雄様
（東京臨海東 RC）
東京臨海東 RC は、今年度地区研修協議会のホスト
クラブを務めます。準備を進めておりますが、親ク
ラブ様にご協力をお願いいたく本日伺いました。
ご協力よろしくお願い申し上げます。

Tokyo Rinkai Rotary Club / Tokyo Rinkai Hokuto Rotary Satellite Club



(GPFR/Go Playing Fellowship of Rotarians) 主催の「第 21 回ロータリー全国囲碁大会」が 5 月 20 日(土) 東京・市ヶ谷の日本棋院本院にて開催されます。GPFR は、2000 年 3 月より毎春に日本、韓国、台湾の順で囲碁対抗戦を繰り広げており、2015 年にはハワイの米国支部が加わり、碁盤を通じて国際奉仕、親睦活動を進めています。詳細は掲示いたしましたのでご覧ください。参加料 7,000 円。申込締切 5 月 12 日(金)。



■ 会長報告：杉浦会長

- ・フードバンク設立のお祝 10 万円を NPO 法人らいおんは一と理事長 及川信之様へ贈呈致します。



- ・ 30 周年実行委員会クラブ拡大発起人代表 鈴木会員
新クラブ東京臨海南 RC の例会場は、東武ホテルレバント東京に決定いたしました。また皆様もなにかの行事はレバントを使っていただくよう宜しくお願い致します。
- ・ 自事業活性化委員会（内海職業奉仕副委員長）
次回自事業活性化委員会は、4 月 19 日(水)、当クラブ例会後 14 時より、東武ホテルレバント東京で開催致します。詳細固まりましたら、出欠の確認とあわせて、またご案内致します。



■ 幹事報告：井上幹事

- ・江戸川 6 ロータリークラブ合同例会は、4 月 5 日(水) 12:30~15:00 東武ホテルレバント東京で開催致します。出席の有無を 3 月 1 日(水) までにご連絡下さるようお願い致します。
- ・子クラブ東京臨海東 RC 創立 27 周年記念合同例会は、3 月 7 日(火) 12:30~13:45 東武ホテルレバント東京にて行われます。出席人数をホストクラブである東京臨海東 RC 様へ連絡致しますので、出席の有無を 2 月 14 日までにご連絡下さるようお願い致します。
- ・ 2 月の理事役員会議事録を 2 月 6 日会員皆様へメール送信致しました。
- ・ 2023-2024 年度版ロータリー手帳を購入される方は、申込期限の 2 月 15 日までに東京臨海 RC 事務局宛お申込みください。1 冊=660 円です。
- ・ 2 月のロータリーレートは、1 ドル=130 円です。

■ 委員会報告

- ・ プログラム構成委員会（伊佐委員長）
ロータリーの友 2 月号紹介
- ・ 国際奉仕委員会（勝間田委員長）
RI 公認の親睦団体であるロータリー囲碁同好会

■ 出席状況報告：櫻田会員

東京臨海 RC

会員数：55 名
出席：33 名（例会場：33 名 ZOOM：0 名）
欠席：22 名
出席率：62.26%

東京臨海北斗 RSC

会員数：31 名
出席：11 名（例会場：3 名 ZOOM：8 名）
欠席：20 名
出席率：35.48%

■ ニコニコ BOX 報告：椎橋会員

(ご意向) 本日は、よろしくお願い致します。：羽鳥貞雄様（東京臨海東 RC）

(ご意向) 江戸っ子ぬくもり応援 R C C 及川隊長、卓話、よろしくお願い致します。：栗山義広様（東京臨海西 RC）、杉浦会長、井上幹事、白井会員、内海会員、小林健一郎会員、入澤会員、秋田会員、大西会員、櫻田会員、橋本会員、諫山会員、田村会員、米衛会員、伊佐会員、熊澤会員、斉藤会員、須藤会員、吉成会員、

虻川会員、渡辺会員、田中会員、勝間田会員、
小松靖教会員、佐藤大輔会員、高橋会員、柴田会員、
小松啓祐会員、寺田雄司会員、坂本会員、工藤会員、
椎橋会員

(ご意向) 妻への誕生日祝のお花、ありがとうございます。
：山田晃久会員

【33件 59,010円 今年度累計 1,552,410円】



■卓 話 (紹介者：プログラム担当 今委員)

「ロータリークラブ×地域活動団体、
協働の先にある明るい社会」

NPO 法人らいおんは一と理事長

江戸っ子ぬくもり応援ロータリー地域社会共同隊隊長
及川信之様

改めましてこんにちは。NPO 法人らいおんは一と、そして、江戸っ子ぬくもり応援 RCC 隊長しております及川と申します。どうぞ、今日はよろしくお願いいたします。

お食事中の方もまだいらっしゃるかなと思いますけれども、お耳だけお貸しいただければと思います。卓上の方にリーフレットパンフレット本日用意させていただきました。この黄色のらいおんは一と、子供食堂のリーフレットです。

その中にですね、1 番後ろに白いのが入ってます。こちらは江戸っ子ぬくもり応援 RCC のこれまでの経緯について書かれております。そして 1 番最後にですね、コカコーラさんとコラボレーションをしまして、自動販売機の説明も入っております。本日はですね、この資料を使いながら、30 分ほどなんですけれども、お付き合いのほどどうぞよろしくお願いいたします。NPO 法人らいおんは一とが設立されて 5 年目となります。ちょうど東京臨海西ロータリークラブさんが出来たのと一緒ぐらいの時期に、立ち上げられた NPO 法人でございます。1 番最初にここに来た時に、ものすごい緊張して食事も喉通らずということ思い出しました。

そういう意味では、私どものこの活動皆さんなくては、成り立たないぐらいのロータリークラブさんと一緒にここまでやってきたというつもりで私はおります。こちらにいらっしゃる多くの方がこのらいおんは一の会員になっていただきまして、日頃の私の活動を支えていただいております。最初は、こちらの黄色の紙のリーフレットから説明させていただきます。

東京臨海ロータリークラブさんも新しい方がどんどん増えて、初めてお会いする方もいらっしゃるかなってということで、改めて説明させていただきます。子供食堂中心に始めております。全国今の 6000 か所。子供食堂の中で、365 日毎日やってるところっていうのは 1 割にも満たないですね。東京では、この間まではうちだけだったんですけども、最近少しずつ増えてまいりまして、その多くは飲食店をやりながら、その中でお店の中で子供が来たら無料でご飯を提供する子供食堂が今増えております。世の中ね、子供家庭長とか、子供への支援とか、家庭の支援とか、貧困問題とかいろんなことがありまして、国の政策によりどんどん力を入れ始めたっていうところもその背景にあるかなと思っております。

こちらページを開いていただきますと、私のご挨拶が書いてありますが。

私、中学校の PTA の会長を 5 年間やって参りました。その中でいろんなこと、子供のこと、家庭のこと、いろんなことを見て、これは何とかしなきゃ、誰かが何とかしなきゃならないなっていう思いで、この子供食堂をやりたいとは最初言わなかったんですけども、当時の江戸川区の教育長、こちらにいらっしますけども、白井区議さん、当時教育長だったんですね。そこにご相談に行きまして、及川さんが思ってる問題解決したいのであれば、今子供食堂が流行ってるから、子供食堂の箱の中でいろんなことができんじゃないかっていうことで、子供食堂設立に至ったわけなんですけども、その際にですね、大西英男代議士をご紹介していただき、そして息子さんである大西洋平さんを紹介していただいて、そこから京葉鈴木グループ鈴木総代に繋がっていくわけなんですけども。

実はですね。今場所を借りてるとこ、江戸川区鹿骨の工場の 2 階をお借りしてるんですけども、そこが京葉鈴木グループの物件っていうことで、家賃光熱費無償でこの 5 年間やらせていただきました。物そして資金も含めて大変ご協力ご支援していただいている鈴木総代には毎日足を向けて寝られない状態が続いてまして、1 番最初にお会いした時に、本社の方に行きまして、ここちょっとまずいとこ来ちゃったかなっていう感じだったんですけども、その当時はいろいろ話はできたんですけども、鈴木総代のことを知れば知るほど話せなくなっちゃって、今はこっち見るだけでも怖いみたいな感じです。

本当に京葉鈴木グループ、そして東京臨海ロータリークラブさん、臨海西、臨海東、そして北斗と新しく南ができるってことで、ますます私も活動と一緒にできるんじゃないかなっていう期待を含めて今日まいったわけでございます。

何が言いたいかと申しますと、是非、らいおんは一の活動に協力していただきたい。と言うことを今日 30 分延々皆さんに訴え続けますのでよろしくお願いいたします。365 日の子供食堂、そして、フードパントリーという、食材を無料で配布するご家庭への支援なんです。

子供食堂やりながら気づいたこと、子供の問題ではないですね。親が問題があると、必ず子供の問題が出てくる。子供だけの問題を解決しても、家に帰ったらまた元に戻ってしまう。家庭を変えなければ何も変わらないってことがこの5年間で本当にしみじみ分かりました。何が大変かっていうと、貧困もあるだろうし、母子家庭シングルでお母さんいなかったりとか。

両親がいても夫婦仲が悪かったりとか、子供に興味がなく、ネグレクトだったりとか、虐待のケースも多々ありました。そういう親をまず変えなきゃならない。コロナで仕事がなくなった。お金もない。食べるものもない。

精神的に気持ちに余裕がなくなって、子供に強く当たってしまったとかそういうケースもあるので、まず我々のできることを大変な家庭に食材を配ってこうと。食べるものさえあれば何とかかなる。そういう思いでフードパントリー始めました。これは家庭への支援。子供食堂は子供への支援。今フードパントリー江戸川区15箇所です。配付場所設けさせていただいて配っております。まだまだ、200世帯ぐらいなんですけども、家庭への支援続けております。ロータリーの会員さんである柴田さんの会社でも場所をお借りして、土曜日ですね、会社が休みの時に食材を配っております。

そんな活動と、子供食堂、フードパントリー、そして、15箇所に増えたんで、もっともっと増やそうって思いで、フードバンクっての作ったんですね。作らせていただいたって感じなんです。こちらは後ほど説明しますが、ここの東京臨海ロータリークラブ前会長である佐藤さんと、現会長の杉浦さんにご支援、ご協力いただきまして、このフードバンクというのが立ち上がりました。そちらは、場所が江戸川区の青森大学なんですけども、学校法人青森山田学園ですね。その評議員なんと工藤さんだったってことがありまして、皆さんの協力得て、フードバンクは1月11日に立ち上がりました。

フードバンクっていうのは企業とかメーカーさんとか色々な所から食材が集まる場所なんです。フードパントリーはそれをバンクに取りに行って地域の方々に配る場所、ちょっと分かりづらいんですけども、物資が集まる場所。それがフードバンクなんです。

必要なところに届ける食材さえあればなんとかなる、大変な家庭にも届けられる。子供食堂でも食材を足せると、そういう思いで食を通じて地域が社会貢献ができないかっていうところでフードバンクは欠かせない存在だったんですね。そういう意味で何とか作りたいっていう思いが、2年ぐらい前からふつふつと思って、ついに今年実現したってことなんです。そのほかにやってること、フリースクールもやっています。不登校の支援ということで、白井区議にご尽力いただきましてですね、区議会でお話をさせていただきまして、なんとうちに子供が来ると学校が出席扱いになると、今江戸川区だけでも1000人以上

の不登校の方がいます。小学校中学校、学校に行くのが全てではないと思ってのですね。小学生中学生も学校なんかやめていいよ。そんな辛いんだから行かなくていいよって話をするんです。

子供食堂の中で、年代の違う下の子から上級生まで、そして大人とそこで話すことによって、その不登校の子もどんどんどんどんなんか強くなってくるんですね。気がつけば、1人2人と学校に戻って。行かなくてもいいって言ってのに行っちゃうんですね。行けって言って行かないんだけど、行くなっていうと行っちゃうっていうね。

そんな場所にもなってるんです。一言で言うと、子供食堂って言っても、いろんなことがその中に入っていて、年代の違う1番下は赤ちゃんから、今1番下は生後4ヶ月の子が来ています。来てるって1人で来てるわけじゃないですけどね。お母さんと一緒に来てるんです。

生まれた時から、お父さんがいない。そういう子供って実はたくさんいるんですね。目に見えないだけでいろんな所で本当に困ってるっていう方がたくさんいるんです。そういうところにこの5年間で、少しずつ繋がって、今そういう子から上は中学校3年生までなんですけども、高校生以上はボランティアとして、ボランティアって言っても、ボランティアっていう名目で支援をしてるんですけども関わっていただいております。そして最近引きこもり支援も始めました。7年間、家に引きこもってて外に出られない。これ、中学生高校生の時にいじめられた経験があつて。

人と会うのは怖い。そういう子とお母さんが相談に来て、じゃあ何とかしたいっていうところで本日いらっしゃいますけども、栗山さんの会社にご紹介させていただきまして、事情をお話したら、心よく引き受けてくださいまして、今少しずつ社会復帰がきてるっていうことなんです。本当に皆さんにお世話になりっぱなしで、1人1人のことを今伝えたいですけども、この会員の皆様、1番最後に、らいおんは一との会員募集の案内があるんですけども、ぜひその時には快くサインをいただければと。

今現在法人会員さん、個人会員さん、賛助会員さんたくさんいらっしゃいます。本当にご支援いただいております。最初の頃から、色々皆さんこちらで言って、井上さんは、会社でいただいたお菓子を大量に年に1回持ってきてくれますね。本当にありがたい、お菓子の山ができるんです。子供達にとってはもう見たこともない高級なお菓子です。

残念ながら子供達って、見たことないものってあんまり口にしないんです。これうまいよ。大人が食べて美味しいよって食べさせて、そんな活動してくれております。佐藤正樹さん、今日はいらっしゃってませんかね。

佐藤正樹さんのところは儲かったよって言って、この間電子レンジを買ってくれたりとか、色々してくださってます。そして、これ絶対言えよって言われてるんですけど、村社さんとはPTAの会長時代から

同期だったんですね。ずっと一緒にやってきて、同じ思いでここまでらいおんは一とを支えてくれてました。何が欲しいって言われた時に、いや、気持ちでいいですって言ったんですけども。3ヶ月に1回トイレットペーパーを山ほど送ってくるんですね。実は、うちの子供食堂女の子が9割で、トイレットペーパーの消費率がめっちゃめっちゃすごくて、非常に助かってると、トイレットペーパーの他に消毒液であったりとか、その時の、世情に合わせていろんなものを寄付してくださっております。これは絶対言えって言われたんで、皆さん会ったら言っていましたよと伝えてください。本当にたくさんの方に支援いただいておりますけども、これからですね、この活動にぜひ協力をしていただければと。

本日のテーマの、ロータリーとらいおんは一と地域の人達が繋がると何ができるかっていうことで、そして初めてこっちの江戸っ子ぬくもり応援 RCC っていうリーフレットの1番後ろに挟まっています。昨年の5月からこのお話が来ました。佐藤前会長の方から RCC ってあるんだよ。何のことだか全然分からないっていうことで、いろいろ話を聞いてるうちに、佐藤前会長そして、杉浦現会長と何度も打ち合わせを続けました。子供食堂で毎月1回必ず定例会を行っております。

6月に関しては3回やりまして、この時に実はお話をもらってから1ヶ月目に国際ロータリーの方から認証状いただきました。名前が江戸っ子ぬくもり応援 RCC、なんかちょっとピンとこない名前かもしれないですけども、色々出ました青少年健全育成 RCC とかね、ちょっと堅苦しい名前は嫌だなと思いました。我々民間で同じ親の目線で、本当に自分も困ってる人間の一員ぐらいの気持ちで、子供達そして家庭を支えていくわけですから、ちょっと行政っぽい名前はやめたいなと思ひまして。江戸っ子だから江戸川区っていうことではないですけども、東京の子供達を温かく応援していこうと、ロータリー地域社会共同体っていうのは皆さん、何度かこの会でも聞いているのかなと思いますけども、ロータリークラブさんと地域の様々な社会貢献活動している団体と一緒にこの活動をしていくっていう、ちょっと分かりづらいのかなと思うんですけども、今回ですね、我々 NPO 法人らいおんは一との子供食堂を中心とした、この活動にロータリークラブさんが、提唱クラブとして、東京臨海ロータリークラブさんが関わってくれまして、一緒に初めて行こうと。

ただ、こちらにも書いておりますけども、ロータリークラブさんはここに対してお金の支援はできない。でも、人であったり、物であったり、情報であったり、様々なそういう支援はしてくれるよ。認証状すごいのをいただきました。国際ロータリーからの認証状っていうことで、ロータリークラブさんのマークがあるだけで、これすごく信用が出てくるんですね。やっぱりそれだけの大きな力、我々が地域活動がどのように活かせるかっていうのは今後の課題になりますけども。先ほども言いましたが、まず最初にフ

ードバンクを立ち上げようという思いで1月11日に設立できたんですけども、ここから何をする？

食を通じて何が起きるかっていうかね、そういう事例がいくつか書いております。これを読んでいただければと思うんですけども、この東京臨海ロータリークラブさんと我々らいおんは一とが、最初にこれを立ち上げたんですけども。

実はらいおんは一とだけじゃないんですね。ここは隊員として様々な団体がここに集まってくるっていうことで、その団体も書いております。

江戸川区のフードパントリーやってる団体が5団体あります。その団体にネットワークを作りまして、そこがまず入りました。後は、学校法人青森山田学園さん、工藤さんの所で、そこも隊員として入っていただきました。後は、白井区議がやっております。ぬくもり塾。

不登校支援、その勉強無料塾の所も入っております。後はセラピールームちるどれん、こちらは不登校と引きこもりとかそういうケアをしている所です。(株)STスマイルさんっていうのは、アイティー関係のところです。ホームページとかその辺を作っていただきます。後は親から子へ正しい金融教育。

ファイナンシャルアドバイザーの方、新たにですね、虐待サバイバー、自身も虐待を受けてなんとか自立した社会人になりたいってことで、税理士の資格を自分で取って、税理士をしながら、子供への虐待無くそうと活動してる方が加わっております。新しい方が増えてるんですね。このぬくもり応援 RCC の中で何をするかっていうと、困ってる家庭、そして子供たちがここに行ったら何とかなるよ。どんなことでも解決できるよ。

ここには行政書士さんであったり、弁護士さんであったり、いろんな方に関わってもらいたいと思ってます。よく相談にくるのは離婚問題です。今も2件離婚の相談を受けております。なんかかね、うまい具合にあの戻してあげたいんですけども、それは全て幸せだというわけではないので、よく考えながら、皆で話をして私1人ではなくて、いろんな大人がそこにいるので、みんなで話をしながら最善の方法を見つけようっていう。相談を受けたりもしております。

ここにもっともっとたくさんの方々が関わってきて、非常に大きな、全ては子供達のためではあるんですけどもね、そこから、なんかなるよっていう、そういう RCC にしていきたいなって思っております。

本日はですね、皆様をお願いしたいことっていうのがあるんですね。これいろいろあるんです。1番は、江戸っ子ぬくもり RCC の隊員、もしくは支援者になってください。ロータリークラブの会員さんは実は隊員にはなれないんですね。なので皆さんの知り合いで社会貢献活動にすごく関心のある方、子供の健全育成に関心のある方いらっしゃいましたら是非ご紹介ください。あとは余剰食品など抱えてる食品メーカーさん、農家さん、企業さんを紹介してください。

こちらと同じなんですけども、食料品など、安く運搬してくれる運送会社さん、もしかしたらこの中にも運送会社さんの方いらっしゃるかなと思いますけども、是非ご紹介ください。後は集まった食材を保管してくれる倉庫業の方、倉庫持ってる方ご紹介ください。こちらはフードバンクに関わってくる活動でございます。

あとは子供食堂に関心があり、そこで働いてくれる方の就労支援です。先ほどの引きこもりの子だけではなくて、お母さん方もこちらにいる皆様の会社の中でご紹介をして就労支援という形で使っていただいていることもあります。それをもう少し広げていきたいのと、子供食堂を1軒2軒と増やしていきたいという思いがあるので、そこでお母さんたちの雇用につながればいいのかなと思っております。

お知り合いの方にも経済的困窮世帯や困難を抱えてるご家庭がありましたら、そういう家庭の方って自分から来ようっていう人は半分もいないですね。誰かの紹介や信頼できる人の紹介で。

こういうところあるから行って見ない？行ってごらん？って言うて来るのほとんどなんです。もしそういう方がいらっしゃいましたら、是非お繋ぎいただければと思います。

次ですね。ここ大事な所で、子供食堂応援自販機を設置していただける個人様法人様、行政などをご紹介くださいっていうことです。この自動販売機コカコーラさんとコラボレーションしまして。

ジュースを1本買うと、10円がらいおんは一とに寄付されるっていう仕組みになってます。こちらのパンフレットに一式書いておりますので、写真も出てますが、子供食堂応援自販機っていう大きく書かれてまして、これを皆様方の会社の前に1台置くと、この会社は、すごい社会貢献してるってところなんだなと一目瞭然とわかります。

私たちが皆さんからもらうばかりでなく、何かを返していきたいのは常々思っていましたけども、こういうのがあることで、皆様方がよりSDGsな活動してるってことが世の皆様にも広がっていくと、会社の信頼度もアップするんじゃないかなって思っております。置いてもいいよって会社さんがいらっしゃいましたら、杉浦会長の方に一報いただければと思っております。時間の関係で全て読めないんですけども、是非読んでみてください。お金がかからずに設置ができます。

よろしく願いいたします。集まったお金は、らいおんは一とに寄付されたお金は先ほど言いました、江戸っ子ぬくもり応援 RCC の方で使わせていただきます。全て子供達と家庭と困ってる方のために、RCC の唯一の資金が、この自動販売機の収益ということになってきます。最後にですね、らいおんは一との会員になってください。

既に会員になっている方たくさんいらっしゃいますけども、私もこの皆様の中にただ会員になってもらって、何もできてない現状、本当に心苦しく思っております。何かの形で色々返していきたいと思っ

ております。本当に困ってる方困ってる子供が本当に多いんです。

この5年間でうちにきた子供達 5000 名累計います。そのぐらいの数の子供達が困ってる、何かを頼ってるっていうことで、そこに対して大人も同数ぐらい来てるんですね。その子供と大人をみんなの力でなんとか支えていくことができれば、本当にいいのかなと。

最後にですね、この RCC 全国に 30 か所あるって言われてます。その中でまともに活動しているのは数箇所しかない。みんな RCC 飛びついてやるんだけど、何をしたいかわからないってところがほとんどだと思います。東京にもう1つあるのですが、そこも名前だけで活動していないということなんです。我々の活動、やってる内容が分かってる子供達、そしてその困ってる家庭のために何とかしようという、活動なので、活動の幅はどんどん広がっていることができます。RCC 立ち上げました。それが消えてなくなっていくないように。

東京臨海ロータリークラブが立ち上げた RCC が全国の見本になるように、私も全力で取り組んで行くつもりでございますので、どうぞ皆さん RCC のご支援と、そしてらいおんは一とへのご入会のほどよろしく願いをいたしまして、卓話を終了させていただきます。ご清聴ありがとうございました。



■ 点鐘：東京臨海 RC 杉浦孝浩会長
東京臨海北斗 RSC 小松啓祐議長

当クラブ例会変更

2023 年 2 月 22 日（水）：休会（祝日週）